

第 74 回日本ハンドボール選手権大会 中国地区大会
男子第 67 回・女子第 50 回中国一般ハンドボール選手権大会

競技上の注意

1 代表者会議

実施しない。参加チームにメールにて送付。変更等は、受付時に要確認。

2 競技規則及びチーム構成

- ① 当大会は、2022 年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則によって実施する。
② 試合毎の参加人数は、以下の通りである。

大会名	チーム役員	選手	備考
日本選手権予選	4 名以内	16 名以内	登録：役員 6 名選手 18 名以内
中国一般	〃	〃	登録：役員 4 名選手 20 名以内

3 競技会場、コートのおおきさ

松江総合体育館

二日間とも、1 面 40m×20m で実施する。（ゴール裏が広いため、マルチボールにて行う）

開館時間は、両日とも午前 8 時 30 分である。

4 競技方法及び競技時間

	競技方法	競技時間（延長戦）	摘要
日本選手権予選	トーナメント	30 分-10 分-30 分（第 1・第 2 延長・7 mTC）	3 決は実施しない
中国一般	トーナメント	25 分-10 分-25 分（第 1 延長・7 mTC）	3 決は実施しない

5 競技時間・退場（失格）者の表示および終了・チームタイムアウトの合図等

	A コート	B コート
競技時間の表示	電光公示時計（加算）	電光公示時計（加算）
退場（失格）者の表示	紙面（タイマーなし）	紙面（タイマーなし）
終了の合図	ホーン	ホーン
チームタイムアウトの合図	ホーン	ホーン

※ 退場者の入場については、チームの責任でおこなうこと。

6 大会試合球：（公財）日本ハンドボール協会の検定球（モルテン・人工皮革公認球）を使用する。

7 チーム役員・選手の確認・変更・追加

受付時に今大会プログラムにてチーム役員・選手等を確認すること。チーム役員・選手の変更・追加がある場合、9 月 30 日（金）15 時までに島根県ハンドボール協会事務局長・南口までメールにて申し出ること。（別紙変更届を利用）また、チーム役員以外のドクター・トレーナーがいる場合は、その場で受付に届け出ること。ただし、選手の番号の変更は認めない。

試合前のトスの際にメンバー表を提出すること。チーム役員の記号はチーム責任者を「A」、他の役員をプログラム順に「B・C・D」とする。なお、チーム役員以外のドクター・トレーナーについては、メンバー表の最下部に氏名を記入すること（競技中は交代地域の外側に設置した椅子に着席し競技に影響を与えてはならない）。

※ 新規・移籍のメンバーは、必ず登録を完了しておくこと。

8 トスの実施、メンバー表の提出、ユニフォームの確認およびチーム役員・選手登録証の提出

- ① トスの実施・ユニフォームの確認は、競技がおこなわれるコートオフィシャル席前で、前試合がない場合は競技開始30分前、前試合がある場合は前の試合のハーフタイム時に行う。その際、チーム代表者はGKとCPの全ての種類のユニフォーム（濃淡・番号が明瞭に識別できるもの）を持参すること。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更すること。なお、チーム役員は、相手チームのCPのユニフォームと同色のウェアの着用は認められない。
- ② 服装や装具については、2022年度の「競技ハンドブック（競技運営に関わる通達・服装や保護を目的とした装具に関する規定）」に準ずる。
- ③ チーム代表者は、メンバー表、チーム役員・選手登録証をTOに提出すること。

9 メンバー・公式記録用紙の確認、チーム役員用カードの着用

- ① 受付時に確認したチーム役員・選手だけが公式記録用紙に記載され、競技に参加することができる。チーム役員以外のトレーナー等については、交代地域外に設置された椅子に着席する。
- ② 試合開始10分前にチーム責任者は、チーム役員の氏名・記号および選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されているか確認し、サインすること。
- ③ チーム役員は、オフィシャル席に用意してある「チーム役員用カード」を着用（公式記録用紙に記載された記号と同一）すること。なお、「チーム役員用カード」は試合終了後に返却すること。

10 両面テープ・松ヤニ・松ヤニスプレー等使用の可否

- ① 当大会は両面テープのみ使用可とする。
- ② 松ヤニ、松ヤニスプレー、滑り止め用クリーム、樹脂等の使用を禁止する。

11 更衣、練習会場、二足制の遵守

- ① ユニフォームを着替える時は、更衣室を利用すること。
- ② 屋外で練習する時は、屋外用のシューズを使用し、二足制を遵守すること。規定の場所以外で屋内シューズを使用した場合、失格とすることがある。ボールも屋外用を使用すること。

12 コート練習および競技フロアへの入場

- ① コートでの練習は、第1試合のチームは試合前、第2試合以降のチームは前の試合のハーフタイム時および試合間とする。なお、コートでの練習は土や松ヤニ等の付着していない屋内用のボールを使用し、屋外用のボールの持ち込み・使用は禁止とする。
- ② 第2試合以降のチームの競技フロアへの入場は、前試合のチームが完全にフロア外へ出た後で入場すること。なお、2日目は、フロア内の「次チーム選手待機場所」で待つことができる（別紙会場図参照）。当日の試合が終了したチームは、速やかに（試合後1時間を目安に）会場外へ移動すること。

13 交代地域での飲料水の補給

ストローつきまたは完全にフタのできる飲み口の細い容器を使用し、シートやフロアを濡らすことのないよう注意すること。また、可能な限り供用しないこと。

14 テクニカルオフィシャル（TO）、裁定委員会

- ① 当大会では、円滑な競技運営のためにテクニカルオフィシャルをおく。
- ② 当大会の競技の健全化を図り、失格（3回目の退場による場合は除く）の判定とともにブルーカードが示された場合、また、試合中以外でも裁定委員会の開催が必要であると競技委員長、審判などが判断した場合には、裁定委員会を開催する。
- ③ 委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長とし、必要に応じて当該のテクニカルオフィシャル・審判員・チーム役員等の関係者を同席させる。

15 その他

公財) 日本ハンドボール協会 HP「2022年度競技規則」ならびに「2022 競技ハンドブック」を参照のこと。新型コロナウイルス対策については、別紙ガイドラインを参照のこと。

松江総合体育館 会場図

